

# SenderBase 評価スコア ( SBRBS ) が低いメッセージにフラグを付けるには、件名ヘッダーをどのように変更すればいいでしょうか。

## 目次

[SenderBase 評価スコア \( SBRBS \) が低いメッセージにフラグを付けるには、件名ヘッダーをどのように変更すればいいでしょうか。](#)

## SenderBase 評価スコア ( SBRBS ) が低いメッセージにフラグを付けるには、件名ヘッダーをどのように変更すればいいでしょうか。

SenderBase 評判スコア ( SBRBS ) はスパムを送信するのに IP アドレスが現在使用されている確率を反映する +10 です、と IP アドレスのための -10 間の値。(アドレスが情報「どれも」利用可能な戻りスコア)ではない。このスコアは、企業スパム管理ポリシーの一部として、さまざまな方法で使用できます。何人かのネットワーク管理者はスコアで機能することをメールパイプラインの下フィルターが更に可能にするために SBRBS スコアとメッセージをタグ付けしたいと思うかもしれません。

SBRBS スコアを使用するために、リスナーは SenderBase クエリを有効にしてもらわなければなりません。これはデフォルトの動作で、`listenerconfig->edit->setup` コマンドで CLI からしか変更することができません。(SBRBS が無効になっている場合でも、`mail_logs` ファイル内の送信側ホストごとに SBRBS スコア レポートとして「None」が表示されます。) SBRBS スコアは SBRBS スコアはメッセージの送信 IP アドレスに基づいて IP アドレスに利用できないことを意味する「どれも」であるかもしれませんが、すべてのメッセージに利用できます。

SBRBS スコアは変数で、メッセージ フィルターと他の場所であなたに利用可能である `$REPUTATION` 保存されます。この変数はフィルタ アクションを判別するためにテストし、メッセージへのヘッダの付加のようなフィルタ アクションで使用することができます。このメッセージ フィルターはあらゆるメッセージへの本文ヘッダが特定のリスナー「`InboundMail`」送信したと同時に SenderBase スコアおよび他の帽子ベースのポリシー パラメータをどのように追加できるか示します:

```
AddHATDataForInbound:
```

```
If ( recv-inj == "InboundMail" )
{
  insert-header ( 'X-SBRBS', '$REPUTATION' );
  insert-header ( 'X-SenderGroup', '$GROUP' );
  insert-header ( 'X-MailFlowPolicy', '$POLICY' );
}
```

注: SBRBS スコアがない送信側に「どれも」の `$REPUTATION` 値がありません。特定の送信者グループに該当しない送信者の送信者グループは「`<Unknown>`」、メールフローポリシーは「`$ACCEPTED`」となります。

このメッセージ フィルターはより複雑です。SBRBS スコアは必ずメッセージ内で「X」ヘッダー

としてマークされます。 SBRS スコアが -2.0 以下の場合は、メッセージ件名の末尾にある評価 ( 波括弧で囲まれている ) をマークします。 また、このフィルタは、件名行を複数回マークしないようにします。

MarkSBRSinSubject:

```
if ( (recv-inj == "InboundMail") AND
      (subject != "\\{SBRS .*\\}$" )
    )
{
  insert-header("X-SBRS", "$REPUTATION");
  if (reputation <= -2.0)
  {
    strip-header("Subject");
    insert-header("Subject", "$Subject {SBRS $REPUTATION}");
  }
}
```